

Cisco インテリジェントWAN

旧来型の拠点間ネットワークが、貴社ビジネスのブレーキになっていませんか。

最近では多くのビジネスシーンで、クラウドサービスによる動画、音声、ビジネスアプリケーションの利用が一般化しています。

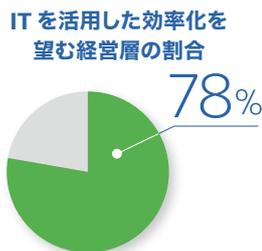
このトレンドは今後も加速し、ユーザからの要求も高度化していくはずで、企業ITを支える拠点間ネットワークも、変革を遂げなければなりません。



たとえばあなたの会社では、次のような課題を抱えていませんか。

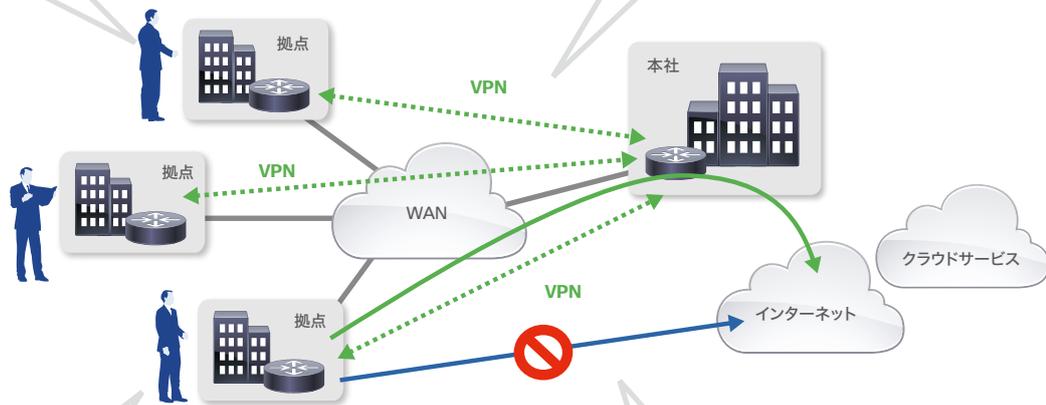
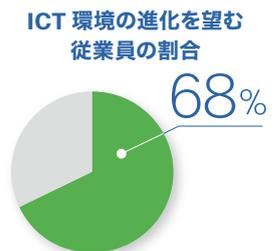
課題1 運用 / 設定の効率化

各拠点での設定作業が大きな負担…運用管理をもっと効率化したい。
拠点の新設 / 移転時に本社と拠点の両方でVPNの再設定が必要…もっと柔軟にVPNを活用したい。



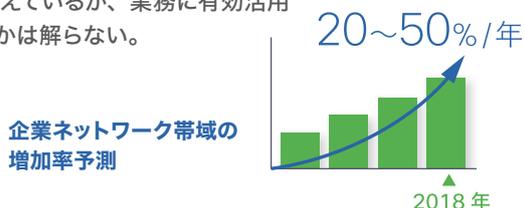
課題2 クラウドや動画のレスポンスが遅い

クラウドサービスや動画アプリケーションの増加に伴い、スループットやレスポンスも悪化しがち。高価なWAN帯域を最大限に活用したい。



課題3 実際の帯域利用率がわからない

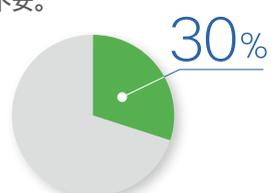
モバイル端末の増加、アプリケーションの多様化で帯域幅は増えているが、業務に有効活用されているかは解らない。



課題4 セキュリティの確保

各拠点からインターネットに直接アクセスさせたい…でもセキュリティが確保できるのか不安。

ブランチ オフィスへの脅威の割合 5% → 30% に増加 (2016年)



シスコのインテリジェント WAN (IWAN) なら、現状の課題をすべて解決可能。
妥協のない快適さとセキュリティをあらゆる接続で提供し、貴社のビジネスに貢献します。

特長 1

運用/設定を簡素化

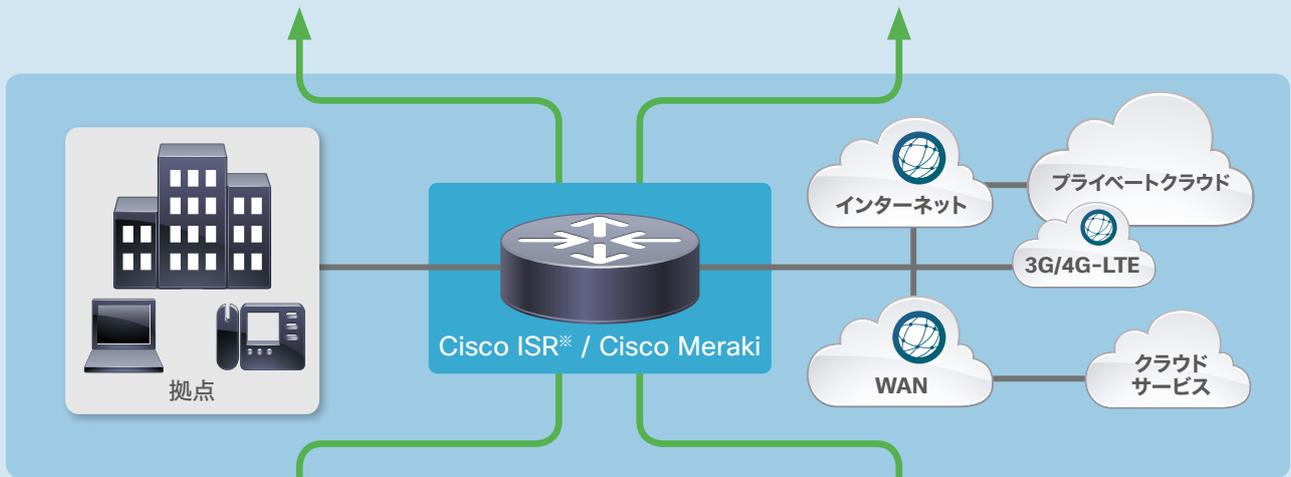
全てのネットワーク機器をGUIで集中管理。各拠点に向くことなく、設定内容を直感的に把握、変更できます。拠点間の通信は本社を経由する必要がなく、VPN接続をゼロタッチで自動展開可能。オンプレミスにもクラウドにも対応しており、様々なニーズを満たすソリューションを提供できます。



特長 2

WAN/インターネット回線を有効活用

Cisco パフォーマンス ルーティング (PfR) によるインテリジェント パス コントロールが、リアルタイムのネットワーク状況に基づき、通信の優先順位付けやデータ圧縮等を自動的に実行。低コストの回線でも、高い可用性とパフォーマンスが得られます。



※ Cisco Integrated Services Router

特長 3

アプリケーションを識別

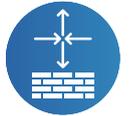
Cisco Application Visibility and Control (AVC) によって、各拠点で利用しているアプリやサービスを全て可視化。業務で利用するクラウド サービスに帯域を割り当てる等の制御が可能です。



特長 4

ブランチ セキュリティを確保

各拠点でも本社と同レベルのセキュリティを確保可能。インターネット アクセスも、きめ細かいポリシー設定と可視化が行えます。



クラウド管理製品



Cisco Meraki MX シリーズ

オンプレミス管理製品



Cisco ISR 800 シリーズ
サービス統合型ルータ



Cisco ISR 4400 / 4300
サービス統合型ルータ



Cisco ASR 1000 シリーズ
アグリゲーション サービス ルータ

©2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2015 年 4 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ